

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部工業振興課		■担当係	工業係
■評価事業名称	工業振興事務			
■評価事業コード	060100 - 201		■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	01 技術力・経営力強化への支援		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市工業振興計画			
■事業目的と概要	時代にあつた工業振興政策を取り入れ、産業の高度化や新たな産業の創出を促す。工業振興施策の推進に関する業務。調査、研究、視察対応等。岩手大学への派遣職員の活動も含む。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成26年度事業計画	平成26年度事業量実績
01	工業振興事務	企業等	工業振興活動 □企業訪問 130件 □工業勉強会・関連機関との事務打ち合わせほか 30件	工業振興活動 年88回(企業訪問85、視察等対応3) □区域産業振興基本条例の制定作業(検討委員会2回、作業部会4回)

3. 投入コスト情報

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	650	491	376	895	
人件費	16,302	15,263	10,840	15,256	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	16,952	15,754	11,216	16,151	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	工業振興施策の推進に関する、調査、研究、視察対応等の数値	150	158	131	162	情報収集、調査活動を積極かつ活発に行つた。企業訪問数で150以上。岩手大学派遣職員の活動数値も含む。
03	1)製造品出荷額等 2)従業員数 3)製造業者数	1)3461億円 2)12755人 3)253事業所	1)3476億円 2)12679人 3)254事業所	1)3722億円 2)12809人 3)240事業所	未発表	工業統計による

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

04 調査等1回あたりコスト	113013	99709	85618	99698	
----------------	--------	-------	-------	-------	--

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析		問題点・課題等
■目標達成状況	<p>● A. 順調 ○ B. 概ね順調 ○ C. 遅れている</p> <p>工業振興に係る事務等について、適切に実施できている。</p>	企業訪問は、年3回に分け市長を始め幹部職員で実施しているが、日程調整に時間を要している。集会方式での開催など、事務量を勘案しながら、実施方法の一部見直しの検討が必要となつてきている。
1. 直接的な受益者の範囲	<p>● 不特定多数に及ぶ ○ 特定されるが多数に及ぶ ○ 特定少数に限定される</p>	<p>● 大きな不利益やリスクが生じる ○ ある程度の不利益やリスクが生じる ○ 不利益やリスクは小さい</p>
2. 事業廃止の影響		3. 国・県・民間との競合関係の有無
4. 事業へのニーズの変化	<p>● ニーズが高まっている ● ニーズは変わらない ○ ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>● 類似の事業はない ● 類似の事業はあるが競合はない ○ 類似の事業があり競合する</p>
5. 施策の改善需要度(市民意識調査)	<p>● 順位が高い ● 順位が中程度 ○ 順位が低い</p>	6. 施策の優先度(市民意識調査)
7. 他市町村に比較しての優位性	<p>● 先進的またはユニークな事業である ○ 他と同程度の事業である ○ 遅れている事業である</p>	9. 経済性・効率性の向上
8. 実施主体の代替性	<p>● 民間委託等の拡充は難しい ○ 民間委託等の拡充が十分に可能 ○ 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>● 今以上の効率化や改善は難しい ○ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ○ 効率化や改善の余地が大きい</p>
■今後の方向性	<p>● I. 拡充 ● II. 継続 ○ III. 縮小・要改善</p> <p>○ IV. 民間活用・協働事業化 ○ V. 廃止・休止 ○ VI. 完了</p>	補足説明